

住宅用地盤向け工法

原地盤と混ぜない

セメントミルクのみで改良

ピュアパイル工法

ピュアパイル工法普及振興会が提供するピュアパイル工法は従来の住宅用地盤向け柱状改良工法を進化させた、腐植土でも施工できる強度3倍の安全、高品質な杭状地盤補強工法だ。住宅用地盤の深層混合処理で、セメントミ



ピュアパイル

ルクを原地盤の土と混ぜずに、セメントミルクと混和剤だけで小径の改良柱を造成するもの。特殊掘削ロッドで地盤を側方に押し広げながら支持深度まで掘進し、セメントミルクで杭柱体を築造するため掘削土の排出も無い。また、現地土質とも無関係で、常時、

より安定した品質を確保できる。腐植土など通常では深層混合処理が困難な施工環境下でも採用が可能だ。施工時間も従来工法の半分で済む。

現場の土質を問わず安定した品質を確保

建設発生土が出ないため、タンクによる残土の搬出や産業廃棄物処理費用などが不要になる環境性の高い工法だ。

ピュアパイル工法は、(株)JBサポートと(株)テノックスにより、開発されたもので、工法の発展・普及を図るため、開発2社によりピュアパイル工法普及振興会が運営されており、今年8月現在で19社の指定施工会社が認定されている。

同工法は今年6月に日本建築総合試験所の建築技術性能証明・規定2を取得した。